

施策の方向 V-2 環境技術による国際貢献の推進

指標	目標・現状・指標がめざす方向
海外からの環境技術視察・研修の受入人数	【目標】現状より増やすこと 【現状】1,143人（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
環境に係る国際会議・イベント等実施状況	【現状】国際環境技術展2010の開催ほか（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究の件数と実施内容	【現状】環境技術産学公民連携公募型共同研究数（累積） ：12件ほか（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：海外からの環境技術視察・研修の受入人数 ・エコタウン施設における受入人数は329人で、震災等の影響もあり、前年度の617人に比べて288人の減少 ・エコタウンを除く受入人数は205人で、震災等の影響もあり、前年度に比べて20人の減少 （対前年度：308人減少、対基準年度：減少）	なし*	2
■指標：環境に係る国際会議・イベント等実施状況 国際環境技術展2013等を開催（対前年度、対基準年度：現状維持）	3	
■指標：環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究の件数と実施内容 川崎市の地域特性を活かしたスマートシティモデル事業検討等の事例について共同研究を実施（累計件数31件）（対前年度：6件増加、対基準年度：多い）	3*	

[方向評価は「*」の付いた指標評価の平均値をもとに評価しています]

現 状

■海外からの環境技術視察・研修の受入人数

- ・川崎エコタウン会館を中核施設として、エコタウン及びゼロ・エミッション工業団地への視察希望者の受入を実施
- ・国内からの来訪者を含めた総視察者数は819人
- ・中国、韓国、ベトナム、インドネシア、イギリス、デンマーク、エジプト等14カ国から329人の海外視察受入
- ・エコタウンを除く受入人数は205人

■環境に係る国際会議・イベント等実施状況

- 川崎国際環境技術展2013の開催
- ・優れた環境技術等を有する145団体（242ブース）が出展
 - ・中国・韓国等の海外からの約215人の来場を含め2日間で合計15,200人が来場
 - ・優れた環境技術の海外への移転に向けた海外企業と出展者とのビジネスマッチングを実施
- アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催

■環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究の件数と実施内容

- 2012年度の共同研究実施件数は6件、実施内容としては次のとおりです。
- ◇川崎市の地域特性を活かしたスマートシティモデル事業の検討
 - ◇クラウドコンピューティングにおける環境情報サイクルの構築に向けた実証研究
 - ◇省電力圧電センサーシステムの医療及び福祉への応用研究

- ◇環境資源の有機的連携に向けた研究
- ◇川崎市の「人」「場所」「情報」を活用した環境・まちづくり意識の普及啓発手法の構築・実践と効果検討、及び持続的展開手法・促進方策等の提案
- ◇南河原こども文化センターにおける地中熱利用空調システムの実証研究